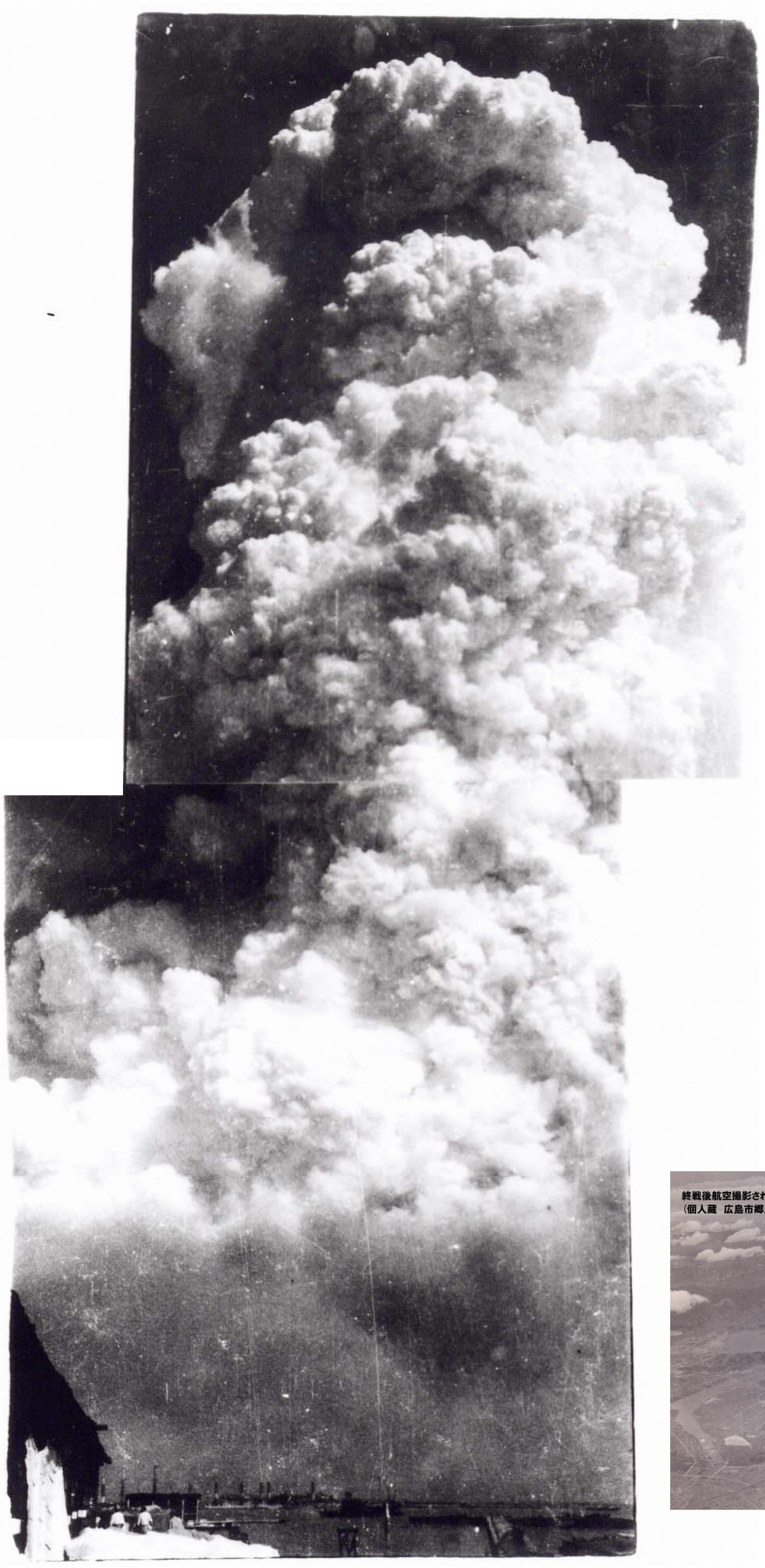
「二十歳の漁師が見たヒロシマ」

～新官区　数金康雄さんの証言～



広島市上空に立ち昇る「きのこ雲」

Ｋ－ＫＮ０２９
小平　信彦／撮影
広島平和記念資料館／提供

爆心地から南へ約 6,000m、数金さんが毎日勤務していた金輪島工場付近から撮影された広島上空。「黒味がかった朱色」だったという「きのこ雲」は、写真左下で雲を見上げる２人の人物との対比からその大きさが想像できます。この時、数金さんは、この画面のさらに奥、爆心地から約 4,500m の宇品港で作業中でした。
※6,000m・4,500m は、勝浦駅から興津・守谷に相当します。

